

「第4次宇都宮市障がい者福祉プラン」進行管理表

基本目標	基本施策	計画NO.	主要取組	取組内容	活動指標 H25基準値				最終年度 H29 目標値	平成28年度の取組内容	最終年度の目標値に向けての課題・取組	
						実績	H26実績	H27実績				H28末見込
生涯にわたり地域で安心して暮らせる環境づくり	相談支援の充実	1	地域における相談支援体制の充実 【障がい福祉課】	障がい者やその家族が、困った時に身近な場所で気軽に相談できるよう中核的な役割を担う「基幹相談支援センター」を設置するなど、地域における相談体制の充実を図ります。	基幹相談支援センターの設置	実績	0か所	1か所	1か所	1か所	・如遇困難ケースに関する直接支援の実施 ・相談支援事業所への専門的な助言の実施 ・市内7か所の障がい者生活支援センターの相談支援に関する専門性の向上を図るための事例検討会を開催	
						年次目標値		1か所	1か所			
						達成率		100%	100%			
					0か所	達成率評価	B	A	A			
	権利擁護の充実	5	成年後見制度等の周知・啓発の推進 【障がい福祉課】	判断能力に不安のある知的障がい者や精神障がい者が、「親亡き後」も安心して生活することができるよう、成年後見制度の利用促進に向けた周知啓発に取り組めます。	周知活動回数	実績	2	3	4	6回	・社会福祉協議会が運営する「法人後見運営委員会」の委員として参加し、法人後見人の活動を支援 ・障がい者団体等との意見交換会や出前講座における成年後見制度の理解促進	・引き続き、社会福祉協議会が運営する「法人後見運営委員会」の委員として参加し、法人後見人の活動を支援するとともに、障がい者団体等との意見交換会への参加や出前講座等の場を利用し、成年後見制度に関する周知啓発を実施
						年次目標値	2	3	4			
						達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
					1回	達成率評価	A	A	A			
	住まいの場の充実	8	高齢・児童・DVなど関係機関との連携強化 【障がい福祉課】	障がい者虐待において、複雑かつ対処困難な事例に的確に対応するため、「虐待・DV対策連絡会議」を開催するなど、高齢者や児童、DV等の関係機関との情報共有や連携強化を図ります。	-	実績	-	-	-	-	・警察や医師・弁護士等の専門家や行政機関などの関係機関で構成する「宇都宮市虐待・DV連携会議」において、虐待やDVの早期発見に向けた啓発用ポスターの作成・掲示	・関係機関との連携強化を図るため、今後とも更なる周知啓発・情報共有に関する施策を検討
						達成率評価	A	A	A			
住まいの場の充実	9	グループホームの設置促進 【障がい福祉課・保健福祉総務課】	グループホームは、障がい者の地域移行や重度化・高齢化に対応する住まいの場として重要な役割を果たすことから、法人に対する施設整備等の支援を充実し、グループホームの設置を促進します。	グループホームの利用者数(月間)	実績	354	352	357	465人 ↓ 393人	・社会福祉法人に対し、施設整備を支援 ・グループホームの開設時に必要となる備品購入費用の一部を補助する「グループホーム設置促進事業補助金」により支援	※平成27年3月に「第4期宇都宮市障がい福祉サービス計画」を策定し、平成29年度末のグループホームの利用者数の見込を新たに設定したため、目標値を変更する。	
					年次目標値	354	363	378				
					達成率	100.0%	97.0%	94.4%				
				317人	達成率評価	A	A	A				
保健・医療の充実	18	在宅医療を含む地域療養支援体制の確保 【保健所総務課】	障がい者が身近な地域で適切な治療やリハビリテーションを受けられるよう、在宅医療を含む地域療養支援体制の確保に努めます。	-	実績	-	-	-	-	・入院患者の円滑な在宅医療への移行に向けた退院支援ルールの本格運用を開始 ・医療・介護等従事者の連携強化等を目指す研修の継続的な実施 ・在宅での療養や看取りに関する市民の理解促進を図る市民公開講座等を実施 ・地域におけるリハビリテーションに係る市民啓発用パンフレットの検討 ・複数の医師が相互に協力しながら在宅医療を担う「主治医・副主治医制」の構築に向けた検討 ・医療・介護連携を支援する相談窓口の検討	cc	
					達成率評価	A	A	A				

基本目標	基本施策	計画NO.	主要取組	取組内容	活動指標 H25基準値		H26実績	H27実績	H28未見込	最終年度 H29 目標値	平成28年度の取組内容	最終年度の目標値に向けての課題・取組
自分らしく生き生きと自立して暮らせる環境づくり	発達支援の充実	27	発達支援ネットワーク事業の充実 【子ども発達センター】	乳幼児期から就労期にわたる一貫した支援ができるよう、医療・保健・福祉・教育・就労の関係課や関係機関の連携を強化し、「個別の支援計画」の策定や「サポートファイル かがやき」の活用推進等により、発達支援ネットワークの充実を図ります。	-	実績	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がい理解啓発紙の「乳幼児期編」、「学齢期編」に加え、「思春期・青年期編」の作成・配布（⇒宇都宮市発達支援ネットワーク会議を活用し、高校生・大学生へのアンケート、支援機関・当事者の親の会などへの実態調査の結果を踏まえ、学識経験者・当事者等の意見を反映）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージに応じて作成した発達障がい理解啓発紙「乳幼児期編」、「学齢期編」、「思春期・青年期編」について</li> <li>市の講演会や出前授業等において、テキストとして活用</li> <li>企業や学校などにおいて、障がい教育の教材として活用していけるよう周知・啓発</li> </ul>
						達成率評価	A	A	A			
		34	障がいのある児童生徒等への教育支援の充実 【教育センター】	障がいのある児童生徒等に対し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を提供するため、個々の障がいの状態等を踏まえた総合的な観点から、就学先を決定するとともに、「個別の支援計画」を策定・活用した指導を実施します。	-	実績	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な就学先を決定するための就学相談の実施</li> <li>「宇都宮市教育支援委員会」及び「宇都宮市特別支援教育に係る合理的配慮検討会」の開催</li> <li>学校生活への適応に向けた、就学先の学校への情報提供の実施</li> <li>学校訪問を生かした新入学児童生徒の適応状況の確認と必要に応じた就学相談の実施</li> <li>「ICFの考え方を活かした個別の支援計画作成研修」の開催</li> <li>個別の支援計画作成状況等の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校に就学を希望する障がい児への合理的配慮提供のため、校内のバリアフリー化などの環境整備や、看護師資格を持つ支援員、学校生活補助員等の確保が必要</li> </ul>
						達成率評価	A	A	A			

基本目標	基本施策	計画NO.	主要取組	取組内容	活動指標 H25基準値		H26実績	H27実績	H28末見込	最終年度 H29 目標値	平成28年度の取組内容	最終年度の目標値に向けての課題・取組
自分らしく生き生きと自立して暮らせる環境づくり	就労支援の充実	40	障がい者職場定着支援の充実 【障がい福祉課】	一般就労後の障がい者に対し、相談やサポートなどを行う職場定着支援の充実を図り、障がい者が安心して働き続けることができる環境づくりを促進します。	一般就労者を輩出した就労移行支援事業所の割合(H24末)	実績	64.3	61.5	58.3	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業を対象とした就労系事業所の見学会やハローワークとの合同企業訪問を実施</li> <li>企業と就労系事業所との意見交換会を開催</li> <li>障がい者職場定着支援事業補助金により、福祉施設から就職した障がい者に対し定着支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業を対象とした就労系事業所の見学会や意見交換会などの開催による、障がい者や障がい者の就労についての理解促進。</li> <li>障がい者職場定着支援事業補助金などの活用による、一般就労後のフォロー体制の充実。</li> </ul>
						年次目標値	70.8	80	80			
						達成率	90.8%	76.9%	72.9%			
						61.1%	達成率評価	A	B			
	42	工賃向上支援の充実 【障がい福祉課】	市庁舎内に設置する障がい者支援施設等製品販売所の運営など、引き続き、工賃向上に向けた支援の充実を図るほか、障がい者支援施設等が供給する物品等に対する需要の増進と優先調達の推進を図ります。	就労継続支援事業所における平均工賃月額(H24末)	実績	14,485	15,413	16,500	20,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎内販売所わく・わくショップUの運営や特別販売会を複数開催するとともに、事業所連絡会議を開催</li> <li>調達事例や施設等製品の写真等を掲載したカタログを活用した販路の拡大</li> <li>事業所に経営等に関する専門家(中小企業診断士)を派遣し、生産活動における経営改善を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わく・わくショップUの出張販売先開拓や、施設等の製品カタログを活用した、販路拡大。</li> <li>専門家(中小企業診断士)派遣事業の実施による、生産活動における経営改善の支援の充実。</li> </ul>	
					年次目標値	14,750	16,000	17,500				
					達成率	98.2%	96.3%	94.3%				
					13,000円	達成率評価	A	A				A
	47	ボランティア活用による社会参加活動の促進 【保健福祉総務課(社会福祉協議会)】	障がい者の意思疎通や社会参加などを支援するボランティアを養成するため、社会福祉協議会やNPO法人など関係団体との連携により、市民ニーズに応じたボランティア養成講座を開催します。	ボランティア養成講座の受講者数(社会福祉協議会ボランティアセンター事業)(H24末)	実績	430	295	335	560人	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアを始めるきっかけとして、気軽に参加してもらえるよう開催期間を短縮するなど、参加形式、講座内容の見直しを図り、講座参加の促進を図った。</li> <li>講座修了者を継続したボランティア活動に繋げるため、基礎的な知識経験のある方に対象を絞った講座内容に重点を置いて事業に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人にボランティア活動に興味や関心を持ってもらうため、講座内容を必要に応じて、随時見直ししていく。</li> <li>各種講座修了後のフォローアップの強化、課題を絞った内容で講座を実施するなど、継続した活動に繋げるためのボランティア育成支援を行っていく。</li> </ul>	
					年次目標値	459	492	525				
					達成率	93.7%	60.0%	63.8%				
					415人	達成率評価	A	C				C
51	外出・移動支援の充実 【障がい福祉課】	障がい者の社会参加や外出機会の増加に伴う多様なニーズに対応するため、交通費の助成や移動支援事業など、外出・移動支援に関する事業の再構築に取り組みます。	外出・移動支援施策の再構築	実績	検討	検討	検討	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の多様なニーズに適切な対応を行うための外出・移動支援に関するあり方を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市が進めている「ネットワーク型コンパクトシティ」形成の動向を注視しながら、引き続き、外出・移動支援のあり方検討を進めていく。</li> </ul>		
				検討	達成率評価	B	B				B	

基本目標	基本施策	計画NO.	主要取組	取組内容	活動指標 H25基準値		H26実績	H27実績	H28未見込	最終年度 H29 目標値	平成28年度の取組内容	最終年度の目標値に向けての課題・取組
互いに尊重し支え合う暮らしやすい環境づくり	障がいへの理解促進	57	地域や企業における障がいへの理解促進事業の充実 【障がい福祉課】	障がい者が社会的障壁を感じることなく、社会のあらゆる場面で積極的に活動できるよう、地域・企業などに対し、障がい特性や必要な配慮について普及啓発を行います。	市が実施する各種イベント等における障がい者に関する啓発活動回数	実績	6	10	14	20回	・「障がい者週間」に合わせた理解促進イベント等の開催(6回) ・民間事業者や地域団体に対する出前講座等の開催(8回)	・「障がい者週間」等に合わせた効果的な啓発活動の検討
					年次目標値	5	10	15				
					達成率	120.0%	100.0%	93.3%				
					2回	達成率評価	A	A	A			
		58	障がいを理由とする差別解消の推進 【障がい福祉課】	障害者差別解消法に基づく合理的配慮の提供等に関するガイドラインを策定し、障がいを理由とする差別の解消を推進します。	合理的配慮に関するガイドラインの作成・配布	実績	0	6,550	6,200	2,600冊 ↓ 7,000枚	・「ヘルプカード」の周知 ・障がい者への合理的配慮の提供に係る動画の作成・放映 ・障がいを理由とする差別について相談を受け付ける専用窓口の設置(相談件数16件) ・情報共有や再発防止策を検討するための地域協議会の設置・運営(協議会2回開催) ・動画を収めたDVDを市立小中学校へ配布 ・「宇都宮市職員の対応要領」に基づく職員研修の開催(3回)	・合理的配慮の提供に係る新たな動画の作成・放映  ※合理的配慮に関するガイドラインは、国の各省庁が作成することとなったため、本市の目標値は合理的配慮の提供について理解を深め、適切に対応するための一つの取組である「ヘルプカードのリーフレット配布数」に変更
					「ヘルプカード」リーフレットの配布	年次目標値	0	6,500	6,800			
	達成率				0.0%	100.8%	91.2%					
	0冊				達成率評価	C	A	A				
	63	小中学校における障がいへの理解促進事業の充実 【障がい福祉課】	障がいへの理解を深め、日常生活の中で声かけや手助けを自然に行うなど、福祉のこころを育むことができるよう、小中学校における理解促進事業の充実に努めます。	小学校における出前講座等の実施回数	実績	15	13	14	30回	・盲導犬ふれあい教室を市内小学校で開催(13回) ・「障がい者週間」に合わせ、小学生を対象とした手話付き絵本の読み聞かせを開催(1回)	・盲導犬ふれあい教室の開催回数を拡大予定 ・28年度に配布した合理的配慮の提供に係るDVDには、盲導犬を利用する視覚障がい者も出演しており、盲導犬ふれあい教室や盲導犬を扱う小学3年生の国語の授業などとの相乗効果を図れるよう、活用を促していく	
				年次目標値	19	20	20					
				達成率	78.9%	65.0%	70.0%					
				16回	達成率評価	B	C	B				

基本目標	基本施策	計画NO.	主要取組	取組内容	活動指標 H25基準値		H26実績	H27実績	H28末見込	最終年度 H29 目標値	平成28年度の取組内容	最終年度の目標値に向けての課題・取組
互いに尊重し支え合う暮らしやすい環境づくり	地域の支援体制の充実	68	地域福祉ネットワーク形成支援 【保健福祉総務課】	高齢者や障がい者を含め、地域の誰もが安心して暮らせるよう、地域住民や福祉関係者が連携協力し、地域の実情に応じた福祉活動が展開できるネットワーク形成を支援します。	-	実績	-	-	-	-	・H27年度に選定した東部ブロックの平石地区、北部・上河内・河内ブロックの河内地区に加え、南部ブロックの瑞穂野地区、東部ブロックの泉が丘地区が新たに「福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)」の策定に着手している。 ・具体的な進捗状況としては、策定体制(委員会等)の構築、地区福祉マップの作成、福祉のまちづくり研修会、住民座談会、住民アンケート等を各地区の実情に沿って実施しており、適宜コミュニティワーカーが支援を行っている。	・引き続き、モデル地区の選定を進め、計画の策定を支援していく。
						達成率評価	A	A	A			
情報バリアフリーの推進	69	情報バリアフリーの普及啓発 【障がい福祉課】	「ユニバーサルデザイン文書マニュアル」や「情報バリアフリーガイドライン」に基づき、市民や企業等にマニュアル等の周知・啓発を図り、情報のバリアフリー化を推進します。	情報バリアフリーの推進に係る出前講座の実施回数・参加者数	実績	5回・118人	4回・146人	11回・350人	10回・400人	・障がい者差別解消に係る取組の一環として、情報バリアフリーの推進に係る啓発を実施 ⇒出前講座等における啓発(8回)、庁内での啓発(3回) ・障がい特性に応じた情報提供の推進 ⇒視覚障がい者に対する点字や音声による情報提供(「広報うつのみや」「議会広報 あなたと市議会」「障がい者サービスのしおり」などの冊子について点字版・音声版を作成、市のホームページの音声読み上げソフトへの対応)	・引き続き、市民や民間企業等に対し、広報紙やホームページでの周知、合理的配慮に係る動画の放映など、周知・啓発に取り組む。 ・相談窓口や「障がい者差別解消支援地域協議会」を通じて、合理的配慮の取組事例を蓄積・共有していく。	
					年次目標値	4回・150人	5回・200人	8回・300人				
					達成率	125.0%	80.0%	137.5%				
					2回・90人	達成率評価	A	B				A